



令和7年度

月形町立月形小学校便り

No.5

7月22日

【教育目標】

- ・ 考えて行動する子
- ・ 進んで学習する子
- ・ 仲良く助け合う子

楽しく笑顔、満足度100%



「食べることは生きること」～何でも食べられる心も体も元気な子に！～

栄養教諭 星野舞子

私はかつて、寄宿舎を併設する特別支援学校に勤務していたことがあります。昼の給食だけではなく、平日の朝食、夕食、土日祝日の寄宿舎での食事も含め毎日3食提供していました。

ある時、障がいや持病の関係で食べ物の制限を必要とする自閉性スペクトラムの診断を受けた生徒さんが在籍していました。その保護者の方とは、毎月のように食事内容について面談し、食についていろいろとお話する機会を設けていたのですが、卒業式を間近に控えたある日、その保護者の方が今までの感謝とともに「うちの子もあの子のようになっていたかもしれない。」とお話されました。詳しく伺うと、東日本大震災後に知っているお子さんが亡くなったということです。そのお子さんは我が子と同じ自閉性スペクトラムの診断を受けていて、その障がいの特性により普段から特定のものだけを食べて生活していたそうです。そのため、そのお子さんにとって震災後の制限のある環境で提供される食事は自分の食経験のあるものではなかったことから、食事を受け入れることができずに栄養失調となり亡くなってしまったとのことでした。

そのようなことを想定していた訳ではないのですが、私は、当時より様々な食材を使ったり、子どもたちが苦手と思われるようなメニューであってもあえて取り入れるなどし、できるだけバラエティに富んだ給食の提供に努めてきました。そのため、その生徒さんは同じ障がいを抱えているものの、家庭では経験できないような食経験を積むことができ、食べられるものが増え、苦しい状況を乗り越えることができたということです。まさに「食べることは生きること」であることを実感した瞬間でした。



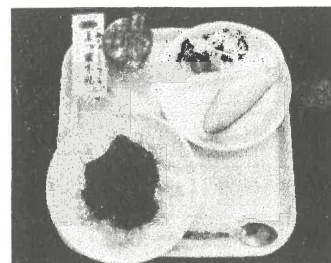
障がいの有無にかかわらず、子どもたちの中には「ピーマンが苦手」という声をよく耳にします。ピーマンは「苦味」のある食材の代表ともいえますが、苦手とする子どもたちが多いのはなぜでしょう。人間は本能として苦味を“害のあるもの”と感じ、命を守ろうとします。ですが本当に害があるのでしょうか。「良薬は口に苦し」とも言うように、苦くても害はなく、身体に必要なものがあるのです。酸味についても同様ですが、いろいろな食べ物の経験を積むほど子どもの味覚は発達します。「うちの子は〇〇が苦手だから」と食卓に登場させなければ、克服するチャンス自体を逃し、いつまで経っても食べられる日はおとずれません。味覚の成長過程で

の一時の“嫌い＝食べ慣れない”味こそ粗末にせずに「できるだけ多くの食経験をさせること」は、栄養教諭として私がとても大切にしているところです。

本校の残食率は必ずしも低い（少ない・良い）とは言えない状況です。しかし、学校給食で子どもが好むものばかりを出し、残る量さえ少なければいいという考えは“作り手側の自己満足”にすぎません。子どもたちに見受けられる食の課題を見据えて給食に反映させることを忘れず、「何でも食べられる心も体も元気な子に！」との願いを込めて、献立づくり・給食づくりに奮闘している毎日です。可能な範囲で構いませんので、ぜひご家庭でもお子さんの食について話題にいただければ幸いです。

これから長い夏休みに入ります。保護者の皆様におかれましては、お忙しい中、また暑い中、お子様のお弁当作りにご苦労される方もいらっしゃるかと思います。気温や湿度が高くなるこの時期は、一層、衛生面で注意が必要となります。ぜひ、給食センター発行の給食だより（夏休み号）を参考にいただくと、食中毒にも気をつけてご準備くださいますようお願いいたします。

お子さんにとっても、保護者の皆様にとっても、素敵な夏休みとなることを願っています。



7月17日（金）給食
月産メロン「月華」

本校では、子どもたちが安心して登校し、学習できる学校づくりを進めていく中で「いじめはいつでもどこでも起こりうる」という認識に立ち、いじめの早期発見・早期解消、そして、いじめが起きない積極的な生徒指導をすすめているところです。

今年5月に行ったアンケートの結果は、次の通りです。(1年生は聞き取り)

【あなたは、4月から今日まで嫌な思いをしたことがありますか。】

ある	ない
13件	54件

『いやな思いをしたことがある』と回答した児童については、すぐに詳しい内容の聞き取りを行いました。これら13件と日常生活で見つけた事案については、校内のいじめ防止対策委員会にて全て検討し、そのうち13件をいじめとして認知しました。

いじめの態様は「嫌なことを言われる・される」「ぶつかられる」「たたかれる」「無視・仲間はずれ」などでした。現在は指導と見守りを中心にいじめ解消に向け取組を進めています。また、訴えてきた子どもの様子を注意深く見守るとともに未然防止の観点からも様々な機会を捉えて指導していくことを学校全体で再確認しました。

本校では、PTA総会でもお伝えした通り、「いじめ防止対策推進法」に基づき、いじめの早期発見・早期解消を組織的に推進するため「いじめ防止対策委員会」を設置して対応しております。また、その取り組みが子どもたちにも伝わるよう児童用リーフレットを作成し各学級で指導したところです。

相手が「嫌だ」と感じたらそれは「いじめ」です。また、いじめはどんな理由があろうとも許されることではありません。今後も子どもたちに「いじめ」について日常の生徒指導や道德教育を中心にあらゆる機会を通して考えさせていきます。ご家庭でもいじめについて話し合っていただきたいと思います。また、もしいじめが疑われるようなことがありましたらすぐに学校へご相談ください。

「いじめ防止対策推進法」に基づき、いじめの早期発見・早期解消を組織的に推進するため「いじめ防止対策委員会」を設置して対応しております。また、その取り組みが子どもたちにも伝わるよう児童用リーフレットを作成し各学級で指導したところです。

いじめ防止対策推進法に基づき、いじめの早期発見・早期解消を組織的に推進するため「いじめ防止対策委員会」を設置して対応しております。また、その取り組みが子どもたちにも伝わるよう児童用リーフレットを作成し各学級で指導したところです。

いじめ防止対策推進法に基づき、いじめの早期発見・早期解消を組織的に推進するため「いじめ防止対策委員会」を設置して対応しております。また、その取り組みが子どもたちにも伝わるよう児童用リーフレットを作成し各学級で指導したところです。

第1回家庭学習強調週間(6/7~6/13)の結果について

今回の結果では全体で約8割の児童が各学年の家庭学習時間の目安の時間を達成しました。

月形小学校では、「宿題+自主学習=家庭学習」と位置づけています。家庭学習はきららなど学校以外で学習した場合も含まれます。

本校が定める「学年の家庭での学習時間」はあくまでも目安であることから、お子さんの実態に合わせた形で行われることが望ましいです。

子どもたちに確かな学力をつけることは、将来子どもたち自身が幸せな人生を送るために必要な要素の一つです。この大切な要素を伸ばすためにも、学校と家庭が協力していくことが大切だと考えております。学校と家庭が一体となって、子どもたちの学力を向上させていきましょう。



【6月結果】

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
家庭学習チャレンジシート提出率	100%	94%	100%	100%	86%	100%
家庭学習をした割合	100%	90%	93%	93%	74%	100%
学習の目安時間達成率(学年×10分)	100%	83%	89%	80%	45%	93%

8月・9月の主な行事予定

【8月】

2日(土)

空知吹奏楽コンクール

演奏開始12:21 岩見沢市民会館

21日(木)

2学期始業式(4時間授業)

22日(金)

夏休み作品展(9/5まで)

児童委員会⑥

25日(月)

水泳学習(5, 6年)

27日(水)

水泳学習(3, 4年)

28日(木)

水泳学習(1, 2年)

クラブ④

30日(金)

水泳学習(5, 6年)

【9月】

4日(木)

クラブ⑤

5日(金)

遠足

8日(月)

体育サポート研修会のため全学年午前授業

※13:00下校 SB13:15

10日(水)

水害時の避難訓練

11日(木)

クラブ⑥

12日(金)

家庭学習強調週間(～18日)

18日(木)

後期児童会役員選挙

19日(金)

遠足予備日

20日(土)

地域参観日(3時間授業)

22日(月)

振替休業日

24日(水)

学年費徴収日

26日(金)

前期期末業務(5時間授業)

30日(火)

前期あゆみお渡し

本校「プラスアンサンブル」が出演します！

「水泳学習保護者ボランティア」として

5年 中川さん
4年 松本さん

に来ていただいています。ご協力ありがとうございます。